

ここが聞きたい!

いっぱん

学力テストにおける 奥出雲町の結果は

塔村俊介 議員

教育長 危機的な状況にある



問 全国学力テストの結果が公表された。島根県では、全国総合順位で小学生44位、中学生33位とかなり順位を落とした。奥出雲町の結果はどうであったか。

答 安部教育長

どの教科とも県平均を下回る結果だ。1科目以外は小中学生とも県平均との差が3ポイント以上開いており、危機的な状況にあると思っている。

問 県が全国下位の中で、それを下回る奥出雲町は大変な危機的な状況にあり、早急な対策も必要だが、根本的に何が必要なのか考えるべきでは、対応策と目標は。

答 安部教育長

私も6年が過ぎたところで成果が十分に出てお

らず焦っている。具体的な対応をしていきたい。

問 支援員の方の増員のようにお金をかけていく必要もある。具体的な提案に対し、町として状況打破へ全面的な支援を約束するか。

答 全面的に支援していく。

問 岩手県矢巾町で中学生が自殺する痛ましいことが起こった。いじめ認知件数の再調査もあったと思う。奥出雲町のいじめ、不登校者数は。

答 安部教育長

町内の過去の状況は以下の通りである。

	H24	H25	H26
いじめ件数	4	7	2
(解決)	4	5	0
(一定の解決)	0	2	1
(未解決)	0	0	1
不登校者数	11	5	6

奥出雲町でも少なからずいじめはあり、全てが解決している訳ではない。

いじめ認知件数の再調査は、3件をいじめ事実として追加報告する。

問 何か起こった際、奥出雲町の対応は十分であったかといえそうでは

ないと思う。町としてのいじめ防止基本方針、いじめ問題対策連絡協議会条例は制定しているのか。

答 安部教育長

基本方針は努力義務のため、また原案ができた段階で、近々決定する予定である。条例は定めていない。

問 実際のいじめの状況はひどいものがあると聞いている。町として、いじめに断固として対応し再発防止の徹底、子どもに寄り添う姿勢が大事だと思うが、町長の考えは。

答 いじめは絶対にあってはならないものだ。より一層防止の徹底を図る。

問 教育委員会だけの問題ではなく、町として解決する問題であり、すぐに体制をつくってほしい。現在、地方創生の中で、若手職員による会議や、町内若手の参加者を募って若もん未来会議が開かれている。このような力を今後も生かすための今後の展開は。

答 今後の町の活性化につながるプランであると

非常に期待している。実施にあたっては、助成事業を活用してもらい、本当に若者がまちづくり主体的に関わる取り組みを強化支援していく。

問 奥出雲町をこうしたいとか、町のために何かしたい、一緒に話したいという方は他にもまだまだいる。町民の力やアイデアを活かすためにも今後このような機会を。

答 若もん会議の活動については来年度以降も継続していく。

問 人、予算が限られる中、町民の力を育成、活用することが必要である。ただ案ができた、お金を払いますということではなく、役場と、地域・住民の間をつなぐ、中間支援組織が大きな役割を果たす。町長の考えは。

答 行政のみならず、町民、事業所など住民が自ら持つ知恵を出しあいながら、資源を補いあう、協働の仕組みが必要であり、その中核として中間支援組織の創出などを進めていく。